

香川の 土地改良

発行所

香川県土地改良事業団体連合会

高松市番町 2 丁目 4 番 27-301 号

TEL (087) 822-0303

FAX (087) 851-1787

<http://www.midorinet-kagawa.or.jp/>



第 11 回水土里の路ウォーキング（坂出市）

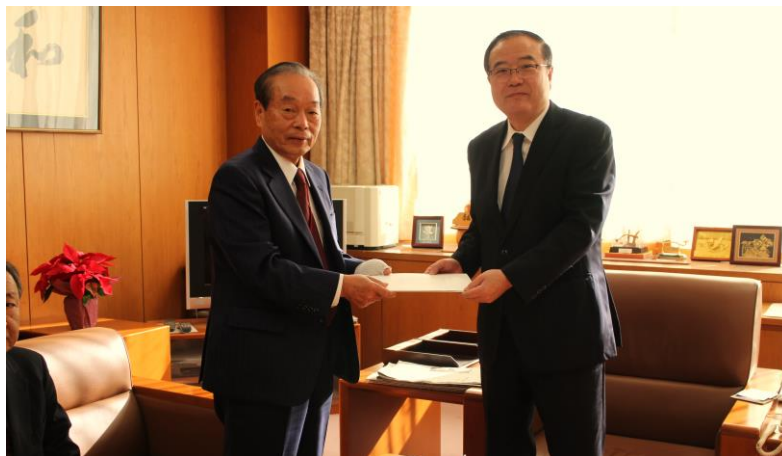
目 次

1. 平成 28 年度農業農村整備予算の確保・拡大について農林水産省に要望2
2. 平成 28 年度農業農村整備予算の確保・拡大について県選出国會議員に要望3
3. 農業農村整備の集い開催4
4. 平成 27 年度水土総合強化推進事業（技術力向上事業）研修会開催5
5. 活動組織（多面的機能支払交付金）の紹介6
6. 平成 27 年度多面的機能支払交付金事業活動組織への個別指導実施7
7. 第 11 回水土里の路ウォーキング開催8
8. 土地改良区だより 大窪池土地改良区9
9. 会と催し10

平成 28 年度農業農村整備予算の確保・拡大について 農林水産省に要望

11 月 27 日、本会の組橋副会長、三笠副会長をはじめ、各地区の土地改良協議会長ら 12 名は、本県坂出市出身の農林水産省の本川事務次官をはじめ、農村振興局幹部職員に対し、本県の農業農村を取り巻く現状や課題を踏まえ、平成 28 年度予算の編成に当たり、農業農村整備予算の確保・拡大及び農村地域防災減災事業予算の重点的な配分等の要望活動を行った。

農林水産省では、財務省に提出した平成 28 年度予算の概算要求において、農業農村整備事業関係予算は 4,588 億円、今年度予算に比べ 1,000 億円の増額要求をしている。このような中、農業農村整備事業を計画的かつ着実に推進するためには、必要な予算を当初予算でしっかりと確保することが重要である。特に、ため池を多数有する本県においては、南海トラフ大規模地震に対応するため、「農村地域防災減災事業」予算の確保・拡大、ため池の計画調査事業における定額助成期間の延伸などについて農林水産省に要望を行った。



本川事務次官に要望書を手渡す組橋副会長



本川事務次官と要望活動参加者



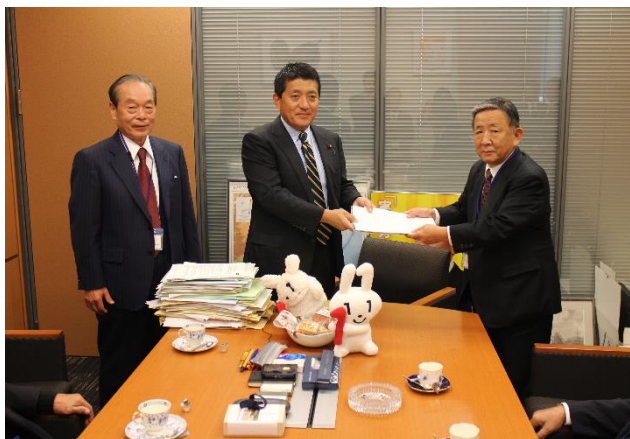
印藤農村振興局整備部長に要望内容を説明する参加者

平成 28 年度農業農村整備予算の確保・拡大に関する要望事項

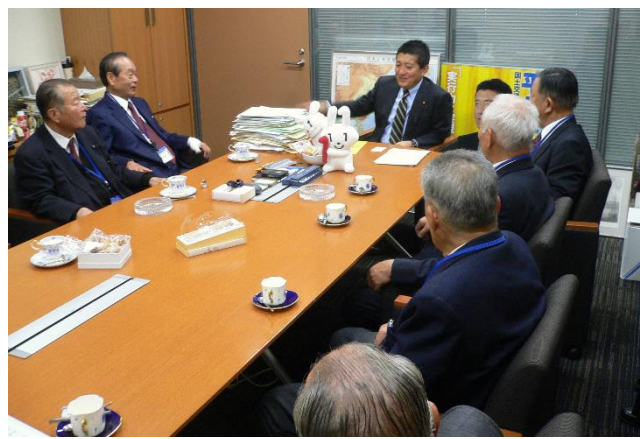
1. 農業農村整備事業関連予算の確保・拡大、とりわけ、国土強靱化の実現に向け、南海トラフ大規模地震の影響が大きいと予測される地域への農村地域防災減災事業予算の重点的な配分
2. 平成 27 年度採択までとされている、ため池の耐震化整備事業等（ため池ハザードマップ作成など）にかかる計画調査事業の定額補助の期間延伸

平成 28 年度農業農村整備予算の確保・拡大について 県選出国會議員に要望

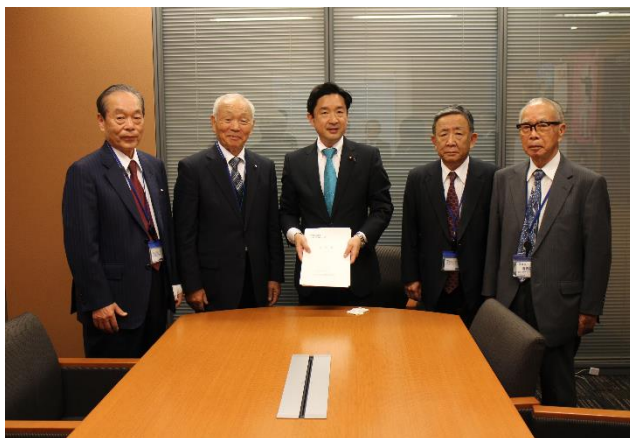
農林水産省への要望後、引き続き県選出国會議員に、平成 28 年度農業農村整備事業関係予算の概算決定に向け、本県が直面する課題に対応するため、農業農村整備予算の確保・拡大及び農村地域防災減災事業予算の拡大・重点配分、ため池耐震化整備事業等における計画調査事業の定額補助の期間延伸などについて要望した。



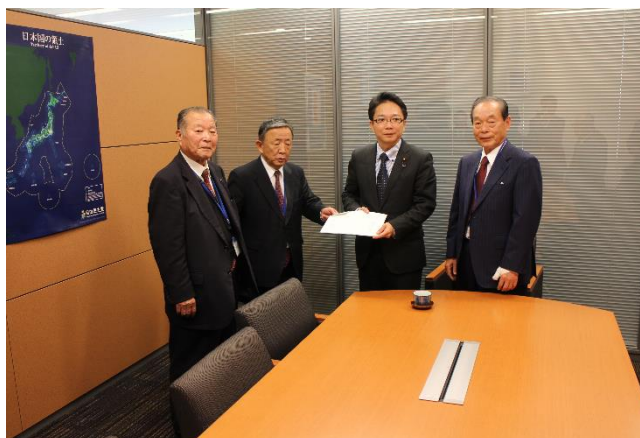
平井衆議院議員に要望書を提出



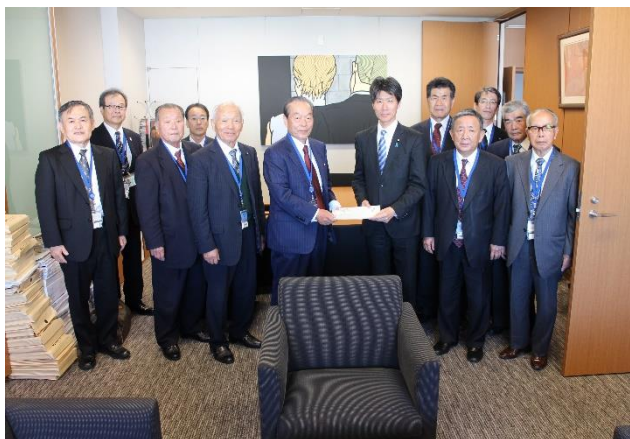
平井衆議院議員に要望内容を説明する参加者



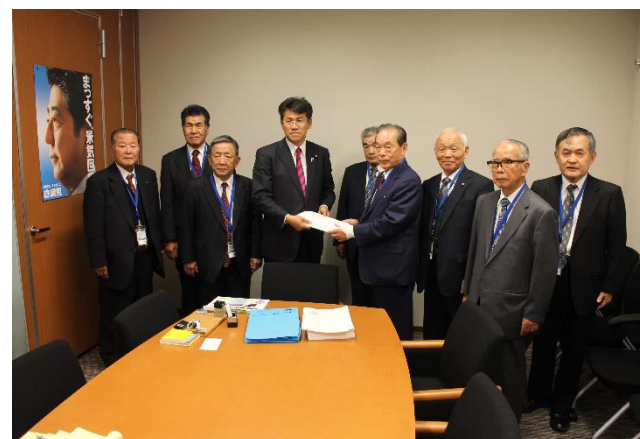
瀬戸衆議院議員に要望書を提出



大野衆議院議員に要望書を提出



磯崎参議院議員に要望書を提出



三宅参議院議員に要望書を提出

農業農村整備事業の集い開催



全国から集った農業農村整備事業関係者

11月27日、「農業農村整備の集い」が東京都千代田区のシェーンバツハ・サボーにおいて、“農を守り、地方を創る予算の確保に向けて”をテーマに開催された。

集いには、全国から農業農村整備事業関係者約800名が参集し、本県からは、本会の組橋副会長、三笠副会長をはじめ、各地区の土地改良協議会長ら12名が参加した。

集いの開会に当たり、全国土地改良事業団体連合会の二階会長は、「平成21年度当時の予算への復活を目指し、来年度の農業農村整備予算について1,000億円の増額要求したところである。今年度補正予算を含め、予算の獲得に向け関係者みんなで協力して戦っていこう。」と挨拶された。

次に、来賓として出席された森山農林水産大臣から、「農業農村整備事業の概算要求において大幅な増額要求をしたところである。年末の概算決定に向けて最大限の予算確保に努めるとともに、補正予算についても積極的に努力する。」と挨拶された。

引き続き、浅野京都大学大学院教授から「見直そう！国富のみなもと土地改良」と題する基調報告、末松農村振興局長から予算に関する緊急報告、全国水土里ネット会長会議顧問の進藤かねひこ氏から全国の農業事情について状況報告があった後、要請書が採択され、ガンバロウ三唱で盛会裏に集いは終了した。



挨拶する森山農林水産大臣



状況報告する進藤かねひこ氏

平成 27 年度水土総合強化推進事業 (技術力向上事業) 研修会開催

平成 27 年度水土総合強化推進事業(技術力向上事業)研修会を 11 月 10 日、三豊市農村環境改善センターを皮切りに、12 日に香川県社会福祉総合センター、翌 13 日には綾歌総合文化会館アイレックスの 3 会場において開催した。

この研修会は、農業従事者の高齢化や農村地域の都市化、混住化の進行等による集落機能の低下に伴い施設の管理が困難となりつつある中、土地改良区の運営体制強化と土地改良区役職員等の技術力向上を図ることを目的としている。特に本年度は、土地改良区が管理する施設の保全や土地改良区の運営体制の強化を図るため、農業水利施設の管理、土地改良区役職員の業務執行上の留意事項等を取り上げて開催し、県、市町、土地改良区役職員等延べ 120 名余が参加し、熱心に受講された。



香川大学工学部安全システム建設工学科
角道教授

修 科 研 目	講 師
農業水利施設の機能保全と持続的管理	香川大学工学部安全システム建設工学科 教授 角道 弘文
ため池ハザードマップの活用について	香川県農政水産部土地改良課 副主幹 香西 達也
農業用水路の補修について	中国四国農政局土地改良技術事務所 専門技術指導官 樋口 恒雄 保全技術課 係長 寺内 久吉 保全技術課 係長 仁科 真治
会計実地検査について	中国四国農政局農村振興部設計課 工事検査官 吉岡 康史
土地改良区役職員の業務執行における留意事項について	香川県農政水産部土地改良課 課長補佐 青木 一洋



中国四国農政局土地改良技術事務所
樋口専門技術指導官



中国四国農政局農村振興部設計課
吉岡工事検査官

活動組織（多面的機能支払交付金）の紹介

平成 27 年度に実施中の活動組織の中から活発に活動する組織や様々な活動事例を紹介する。

平成 19 年度採択
三木町

丸岡生き生きクラブ

地区の概要

農用地	田	畑	計
協定面積	25ha	3ha	28ha
対象面積	22ha	3ha	25ha

構成員：農業者、水利組合、
自治会、老人会
子供会

◆ 農村環境保全活動（景観形成・交流活動）



*活動組織からのコメント

- 活動を通して住民の理解が得られ、構成員の都合がつかないとき家族の誰かが参加するなど、家族内での協力体制が整い、また自分たちの住む地域への関心も深まってきた。
- コスモス交流会は、年を追うごとに参加者が増え、小学生だけでなく、保育園児の絵も協賛出品され、11月3日は、丸岡生き生きクラブの恒例イベントとなっている。一昨年からは、和太鼓集団「満天」による迫力あるパフォーマンスも加わり、ますます活気を帯びてきている。

平成 24 年度採択
善通寺市

原田地域保全活動組織

地区の概要

農用地	田	畑	計
協定面積	79ha	4ha	83ha
対象面積	58ha	3ha	61ha

構成員：農業者、水利組合、
自治会、土地改良区
子供会

◆ 農地維持 （ため池の草刈り）



◆ 農村環境保全活動 （景観形成・交流活動）



*活動組織からのコメント

- 取り組んで感じたこと
地域活動の重要性を再認識した。また、非農業者を含めた集落活動の強化を図ることができた。
- 次年度に向けての目標
農地や農業用施設の保安全管理、老朽施設の修繕、自然環境の保全や景観形成に引き続き取り組む。

平成 26 年度採択
三豊市

麻環境保全会

地区の概要

農用地	田	畑	計
協定面積	202ha	47ha	249ha
対象面積	202ha	47ha	249ha

構成員：農業者、水利組合、
自治会、老人会、消防団、
朝日山を守る会、PTA

◆ 施設の長寿命化のための活動
(地域住民による直営施工)



◆ 農村環境保全活動
(景観形成・交流活動)



*活動組織からのコメント

- 本事業の取組みを契機として、中山間地域等直接支払の取組地域 33 地区が麻環境保全会でまとまり、連携して活動するようになった。
- 今後ますます高齢化が加速するであろう中山間地域の将来を踏まえ、農地や農業用施設の保安全管理に支障をきたさないようにするため、地域住民との連携をより深め、地域の一体化を目指す。

平成 27 年度多面的機能支払交付金事業
活動組織への個別指導実施

香川県多面的機能発揮促進協議会では、11 月から県下全 383 活動組織の活動状況及び各種帳票の作成状況について、個別に確認・指導を実施している。

活動区域内の地域資源である農用地、道路や水路等土地改良施設について、農地の利用集積の進展に伴う保安全管理をはじめ、高齢農家や不在地主の増加に伴う遊休農地化する恐れのある農地の管理方法等を具体的に検討する「地域資源の適切な保安全管理のための推進活動」の活動内容についても指導を進めている。

また、個々の農作業労力を結集して、集落を単位とする農業生産の共同化・統一した営農を行う集落営農組織の推進についても併せて実施している。



第11回水土里の路ウォーキング開催

～「古のロマンのまち坂出」いにしへの歴史を追跡～

11 月 15 日、坂出市松山土地改良区及び坂出市が主催し、国の機関や県、本会が共催・後援する水土里の路ウォーキングが坂出市において開催された。

このウォーキングは、一般住民を対象に、ため池やほ場整備など土地改良施設の役割や重要性等の再認識を目的として、毎年開催している。



挨拶する東山理事長



全員で準備体操

11 回目を迎えた今年、坂出市立松山小学校を発着点とし、ため池やほ場整備地区などの土地改良施設に加え、地域の歴史遺産を巡る 5k m、10k m の 2 コースを設けたところ、家族連れや歴史ファンなど、下は 2 歳から上は 87 歳まで、県内外から 260 名余が参加した。



ため池の役割を学ぶ参加者

県下の一大産地である金時ニンジン畑に沿う農道を進み、真元池でため池の役割について説明を受けた後、地元坂出市名産の金時みかんとして知られる「小原紅早生」が実る畑を横に、ほ場整備「松山中村地区」が一望できる高台へと歩みを進めた。眼下には整形された農地が広がり、遠方には瀬戸大橋や瀬戸内海の島々を望みながら、地元農家の方が語る事業実施当時の苦勞話に耳を傾けた。



高台から整備農地と瀬戸大橋を望む



青海神社から白峯御陵まで続く、西行法師が詠んだ歌碑が並ぶ石段

その後、息を弾ませつつ延々と続く石段を登り、「悲劇の帝・崇徳上皇」ゆかりの地として、霊を祀った青海神社や、墓陵である白峯御陵に立ち寄り、その波乱に満ちた生涯について説明を受けながら、古のロマンに思いを馳せた。

心地よい秋の風が吹くなか、自然を満喫した参加者は、ゴール地点で地元産のみかんを受け取り、土地改良施設の役割や農業の大切さ、地域の有する魅力を再認識した一日となった。

心地よい秋の風が吹くなか、自然を満喫した参加者は、ゴール地点で地元産のみかんを受け取り、土地改良施設の役割や農業の大切さ、地域の有する魅力を再認識した一日となった。

～土地改良区だより～

大窪池土地改良区（丸亀市）

大窪池土地改良区は、本県中央部、丸亀市飯山町の南部地域に位置し、江戸時代に矢延平六が大窪谷川を堰き止めて築造したと伝えられる大窪池を主水源とする水田 183ha を管内として、昭和 28 年 1 月 23 日に設立された。

管内の農地は、その昔、土器川の川原を先人が苦勞して拓いたため、水田の約 3 割が水持ちの悪い、いわゆる「ガラク地」である。このため水争いが絶えず、貯水量の増加を図るために大窪池の堤防の嵩上を繰り返し、水源の確保に努めてきた地域である。また、なお不足する農業用水を土器川右岸用水事業で整備した大川頭首工から導水する土器川の河川水や香川用水に依存し、丸亀平野の中核を成す穀倉地帯を形成している。



讃岐富士を望む管内全景



大窪池



大窪池流入ゲート



三好光則理事長

また、昭和 49 年度から 55 年度にかけて県営老朽ため池整備事業で改修し、平成 13・14 年度には、国営総合農地防災事業でグラウト及び浚渫工事を実施した。さらに、ため池の取入樋門についても、平成 25 年度に農業基盤整備促進事業で改修された。これにより大窪池は、堤防とともに、永年にわたり堆積した土砂が取り除かれるなど一新され、貯水量 84.3 万 m³ の県下で 20 番目の貯水量を誇るため池として、農業用水の豊かな水を蓄えるとともに、災害時の洪水調節など防災面にも大きな役割を果たしている。

その結果、この地域では、水稻及び麦作を中心に、白菜やキャベツ等の野菜を栽培する複合経営が展開され、近年では丸亀市の都市近郊の有利性を生かした施設園芸や花卉栽培が盛んとなっている。

また、近年、効率的な農業を目的にほ場整備事業を実施し、多面的機能支払交付金事業の大窪池地域保全活動組織と連携して、優良農地を守り、美しい農村環境の維持保全に取り組むなど、住みやすい『法の郷』まちづくりにも努めている。

土地改良区の概要

所在地	丸亀市飯山町下法軍寺 1312 番地
設立年月日等	昭和 28 年 1 月 23 日 香川県第 101 号
関係市町	丸亀市
管内農地面積	183ha（田 183ha）
組合員数	485 人（総代 43 人）
役員数	理事 10 人、監事 3 人

会 と 催 し

開催月日	会 の 名 称	開催場所
11 月 10 日	疏水ネットワーク通常総会及び疏水フォーラム in 高梁川流域 2015	岡山県
10 日	平成 27 年度水土総合強化推進事業（技術力向上事業）研修会	三豊市
11 日	新たな土地改良長期計画に関する地方懇談会	岡山県
12 日	平成 27 年度水土総合強化推進事業（技術力向上事業）研修会	高松市
12 日	農業集落排水施設に係る新技術普及研究会中国四国ブロック会議	岡山県
12 日 ～13 日	2015 ため池フォーラム in いしかわ	石川県
13 日	平成 27 年度水土総合強化推進事業（技術力向上事業）研修会	丸亀市
13 日	香川県農林年金受給者連盟研修会	高松市
13 日	平成 27 年度管内各県耕地関係課長等会議	高松市
15 日	第 11 回水土里の路ウォーキング	坂出市
24 日	香川県農業会議常任議員会議	高松市
25 日	平成 27 年度大川地区土地改良研修会	さぬき市
26 日 ～27 日	平成 27 年度換地技術者育成・確保連絡会議	大分県
27 日	農業農村整備予算の要望活動及び農業農村整備の集い	東京都
27 日	平成 27 年度香川県集落営農・農地活用推進プロジェクトチーム会議	高松市
12 月 1 日	第 14 回香川県 J A 大会	高松市
3 日	平成 27 年度小豆郡土地改良事業推進協議会第 2 回研修会	小豆島町
4 日	平成 27 年度綾歌郡永富池土地改良区・萱原用水土地改良区合同役員会	綾川町
5 日	香川県土地改良 O B 会	高松市
9 日	平成 27 年度土地改良区基盤強化事業研修会（基礎コース）	千葉県

土地改良相談所開設

定期相談日

毎月 5 日、15 日、25 日に香川県土地改良事業団体連合会の本部及び各支所で開設しています。出張相談も行っておりますので、お気軽にご相談下さい。相談業務の範囲は次のとおりです。

1. 土地改良事業に関する苦情紛争の調停及び指導
2. 土地改良事業計画の樹立工事の実施に関する助言及び指導
3. 土地改良事業主体の組織運営に関する助言及び指導
4. 土地改良施設の機能、検査等維持管理に関する助言及び指導
5. 農業水利に関する調停及び指導
6. 土地改良法令に関する指導
7. その他